

1日 (新共同訳)9:58 狐には穴があり、空の鳥には巣がある。だが、人の子には枕する所もない。

(新改訳)9:58 狐には穴があり、空の鳥には巣があるが、人の子には枕する所ありません。

(60) あなたは行って、神の国を言い広めなさい。

あなたは出て行って、神の国を言い広めなさい。

(62) 鋤に手をかけてから後ろを顧みる者は、神の国にふさわしくないだれでも、手を鋤につけてから、うしろを見る者は、神の国にふさわしくありません。

4日 10:27 あなたの神である主を愛しなさい、また、隣人を自分のように愛しなさい

10:27 あなたの神である主を愛せよ』、また『あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ』

(33) □3つ目

ところが、旅をしていたあるサマリア人は、そばに来ると、その人を見て憐れに思い、

ところが、あるサマリア人が、旅の途中、そこに来合わせ、彼を見てかわいそうに思い、

5日 11:2 父よ、／御名が崇められますように。御国が来ますように。

11:2 父よ。御名があがめられますように。御国が来ますように。

(3) <sup>3</sup>わたしたちに必要な糧を毎日与えてください。<sup>4</sup>わたしたちの罪を赦してください、／わたしたちも自分に負い目のある人を／皆赦しますから。わたしたちを誘惑に遭わせないでください。

<sup>3</sup>私たちの日ごとの糧を毎日お与えください。<sup>4</sup>私たちの罪をお赦しくください。私たちも私たちに負いめのある者をみな赦します。私たちを試みに会わせないでください。

6日 11:24 「汚れた霊は、人から出て行くと、砂漠をうろつき、休む場所を探すが、見つからない。それで、『出て来たわが家に帰ろう』と言う。

11:24 汚れた霊が人から出て行って、水の無い所をさまよいながら、休み場を捜します。一つも見つからないので、『出て来た自分の家に帰ろう』と言います。

(26) そうなると、その人の後の状態は前よりも悪くなる。

そうなると、その人の後の状態は、初めよりもさらに悪くなります。

7日 11:30 人の子も今の時代の者たちに対してしるしとなる。

11:30 人の子がこの時代のために、しるしとなるからです。

8日 □2つめ

11:42 十分の一は献げるが、正義の実行と神への愛はおろそかにしているからだ。

11:42 十分の一を納めているが、公義と神への愛はなおざりにしています。

(43) □4 つめ

(新共同訳)会堂では上席に着くこと、広場では挨拶されることを好むからだ。

(新改訳)おまへたちは会堂の上席や、市場であいさつされることが好きです。

14 日 <sup>13:8</sup> 御主人様、今年もこのままにしておいてください。木の周りを掘って、肥やしをやってみます。

<sup>13:8</sup> ご主人。どうか、ことし一年そのままにしてください。木の回りを掘って、肥やしをやってみますから。

(3) あなたがたも悔い改めなければ、皆同じように滅びる。

あなたがたも悔い改めないなら、みな同じように滅びます。

15 日 <sup>13:14</sup> イエスが安息日に病人をいやされたことに腹を立て、群衆に言った。

<sup>13:14</sup> イエスが安息日にいやされたのを憤って、群衆に言った。

(15) 安息日にも牛やろばを飼い葉桶から解いて、水を飲ませに引いて行くではないか。

安息日に、牛やろばを小屋からほどき、水を飲ませに連れて行くではありませんか。

(16) この女はアブラハムの娘なのに、十八年もの間サタンに縛られていたのだ。

この女はアブラハムの娘なのです。それを十八年もの間サタンが縛っていたのです。

2015 年 8 月号

16 日 <sup>13:28</sup> 自分は外に投げ出されることになり、そこで泣きわめいて歯ぎしりする。

<sup>13:28</sup> あなたがたは外に投げ出されることになったとき、そこで泣き叫んだり、歯ぎしりしたりするのです。

17 日 <sup>14:5</sup> あなたたちの中に、自分の息子か牛が井戸に落ちたら、安息日だからといって、

<sup>14:5</sup> 自分の息子や牛が井戸に落ちたのに、安息日だからといって、

18 日 <sup>14:18</sup> 畑を買ったので、見に行かねばなりません。

<sup>14:18</sup> 畑を買ったので、どうしても見に出かけなければなりません。

(19) 牛を二頭ずつ五組買ったので、それを調べに行くところです。

五くびきの牛を買ったので、それをためしに行くところです。

(20) 妻を迎えたばかりなので、行くことができません

結婚したので、行くことができません。

20 日 <sup>15:1</sup> 徴税人や罪人が皆、話を聞こうとしてイエスに近寄って来た。

<sup>15:1</sup> さて、取税人、罪人たちがみな、イエスの話を聞こうとして、みもとに近寄って来た。

(7) このように、悔い改める一人の罪人については、

それと同じように、ひとりの罪人が悔い改めるなら、

(4) 見失った一匹を見つけ出すまで捜し回らないだろうか。

いなくなった一匹を見つけるまで捜し歩かないでしょうか。

(5) そして、見つけたら、喜んでその羊を担いで、

見つけたら、大喜びでその羊をかついで、

(7) 悔い改める一人の罪人については、

ひとりの罪人が悔い改めるなら、

21 日 (新共同訳)<sup>15:20</sup> まだ遠く離れていたのに、父親は息子を見つけて、  
憐れに思い、走り寄って首を抱き、接吻した。

(新改訳)<sup>15:20</sup> まだ家までは遠かったのに、父親は彼を見つけ、かわ  
いそうに思い、走り寄って彼を抱き、口づけした。

22 日 <sup>15:28</sup> 父親が出て来てなだめた。

<sup>15:28</sup> それで、父が出て来て、いろいろなだめてみた。

23 日 <sup>16:8</sup> 主人は、この不正な管理人の抜け目のないやり方をほめた。

<sup>16:8</sup> 主人は、不正な管理人がこうも抜けめなくやったのをほめた。

主人は「抜け目のない」ことをほめました。反対語は「間抜け」  
でしょう。どんなに一所懸命でも目標を間違うと実りがありません。  
イエスさまは「もっと頑張りなさい」とは言っていません。  
また、羊、銀貨、放蕩息子と兄、不正な管理人は同じたとえ話で  
す。話し相手はファリサイ派の人々や律法学者たち、そして弟子  
たちです。管理人の話は、様々に解き明かされています。あなた  
の牧師はなんと説明されるでしょうか。

24 日 <sup>16:26</sup> 大きな淵があって、ここからお前たちの方へ渡ろうとしても  
できないし、そこからわたしたちの方に越えて来ることもできな  
い。

<sup>16:26</sup> 大きな淵があります。ここからそちらへ渡ろうとしても、渡  
れないし、そこからこちらへ越えて来ることもできないのです。

(31) 『もし、モーセと預言者に耳を傾けないのなら、たとえ死者の中  
から生き返る者があつても、その言うことを聞き入れはしないだ  
ろう。』

『もしモーセと預言者との教えに耳を傾けないのなら、たとえだ  
れかが死人の中から生き返つても、彼らは聞き入れはしない。』

25 日 <sup>17:14</sup> 彼らは、そこへ行く途中で清くされた。

彼らは行く途中できよめられた。

(15) 自分がいやされたのを知って、大声で神を賛美しながら戻って来  
た。<sup>16</sup>そして、イエスの足もとにひれ伏して感謝した。

自分のいやされたことがわかると、大声で神をほめたたえながら  
引き返して来て、<sup>16</sup> イエスの足もとにひれ伏して感謝した。

26 日 <sup>17:21</sup> 実に、神の国はあなたがたの間にあるのだ。

<sup>17:21</sup> いいですか。神の国は、あなたがたのただ中にあるのです。

(24) 稲妻がひらめいて、大空の端から端へと輝くように、  
いなずまが、ひらめいて、天の端から天の端へと輝くように、

27 日 <sup>18:5</sup> しかし、あのやもめは、うるさくてかなわないから、彼女のため  
に裁判をしてやろう。

<sup>18:5</sup> どうも、このやもめは、うるさくてしかたがないから、この女  
のために裁判をしてやることにしよう。

(7) まして神は、昼も夜も叫び求めている選ばれた人たちのために  
まして神は、夜昼神を呼び求めている選民のために

(1) イエスは、気を落とさずに絶えず祈らなければならないことを教  
えるために、

いつでも祈るべきであり、失望してはならないことを教えるため  
に、

28日(新共同訳)<sup>18:27</sup> イエスは、「人間にはできないことも、神にはできる」と言われた。

(新改訳)<sup>18:27</sup> イエスは言われた。「人にはできないことが、神にはできるのです。」

29日 <sup>18:37</sup> 「ナザレのイエスのお通りだ」と知らせると、

<sup>18:37</sup> ナザレのイエスがお通りになるのだ、と知らせると、

(39) ダビデの子よ、わたしを憐れんでください」と叫び続けた。

ますます「ダビデの子よ。私をあわれんでください」と叫び立てた。

(41) 主よ、目が見えるようになりたいのです」と言った。

主よ。目が見えるようになることです」と言った。

(43) 盲人はたちまち見えるようになり、神をほめたたえながら、イエスに従った。

彼はたちどころに目が見えるようになり、神をあがめながらイエスについて行った。